

令和3年度 第1回 香川県公共事業評価委員会 議事録

1. 開催方法：持ち回り（会議開催予定日が新型コロナウイルス感染症対策の「まん延防止等重点措置」の適用期間に該当することから香川県公共事業評価委員会設置要綱第5条3項を適用）

2. 委員（敬称略）

委員長 井原 健雄（香川大学名誉教授）
副委員長 白木 渡（香川大学名誉教授）
委員 池田 弘子（(株)人間科学研究所所長）
大谷 誠一（(一社)香川経済同友会専務理事）
角道 弘文（香川大学創造工学部教授）
佐藤 好美（佐藤好美建築工房主宰）
末永 慶寛（香川大学創造工学部教授）

（委員7名のうち全員に意見聴取）

3. 議 事

- (1) 再評価対象事業

下記の再評価対象5事業について、事業主体から、現在までの進捗状況や長期化している理由、事業の必要性等を説明し、審議を行った。

- ①大規模特定河川事業 本津川
- ②社会資本整備総合交付金（広域河川改修事業） 新川
- ③社会資本整備総合交付金（広域河川改修事業） 吉田川
- ④社会資本整備総合交付金（広域河川改修事業） 春日川
- ⑤社会資本整備総合交付金（高松港港湾環境整備事業） 高松港（朝日地区）

- (2) 審議内容

①②③⑤の事業は、対応方針（案）の「事業継続」は妥当と判断された。

④の事業は、より詳細な審議や現地調査が必要と判断される事業に選定されることとなった。

委員からの主な意見は、以下のとおり。

- ①大規模特定河川事業 本津川
- ②社会資本整備総合交付金（広域河川改修事業） 新川
- ③社会資本整備総合交付金（広域河川改修事業） 吉田川

・近年の気候変動により治水事業の重要性が高まっていることから事業効果が早期に発現できるよう進められたい。併せて、住民に対し事業の効果を知ってもらうよう努力されたい。

- ④ 社会資本整備総合交付金（広域河川改修事業） 春日川
 - ・事業の進捗状況等について具体的に確認するため、現地調査を行い、より詳細に審議を行う。

- ⑤ 社会資本整備総合交付金（高松港港湾環境整備事業）高松港（朝日地区）
 - ・事業効果が早期に発現できるよう進められたい。

(3) その他

1) 今後の予定

現地調査及び詳細審議の日程等については、事務局で検討のうえ後日連絡する。

— 以上 —